

第2回 あなたのまちと公園をより良くしていくためのワークショップ 御殿山公園

▼ 本日のスケジュール

14:00 はじめに、本日の目的

14:05 第1回WSの結果を踏まえて整理した公園の方向性の共有

14:15 グループワーク①「実現するために大切なことは？」

14:50 5分休憩

14:55 グループワーク②「誰がどのように関わるとよいか？」

15:30 今日出たアイデアの共有

15:45 おわりに、今後のお知らせ

15:50 終了

1

はじめに

▼ 今日はこんな場にしたい

✕ 要望を伝える場

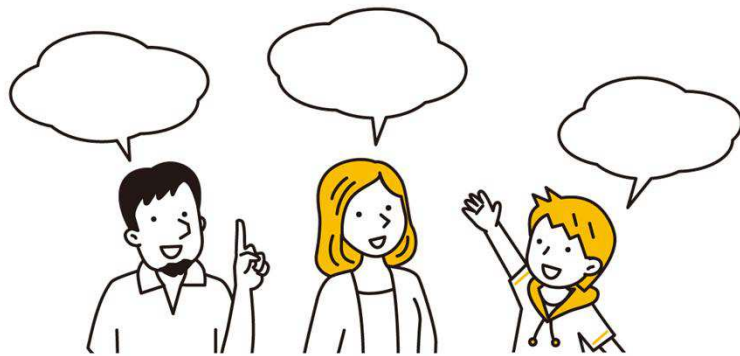


○ 一緒に考える場



▼ 安心して話せる場にするために

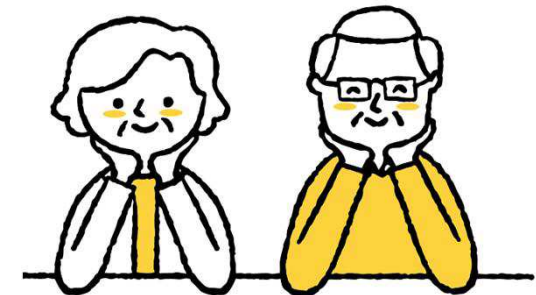
正解はありません



いろんな考えを
大切に



否定せずに聞く



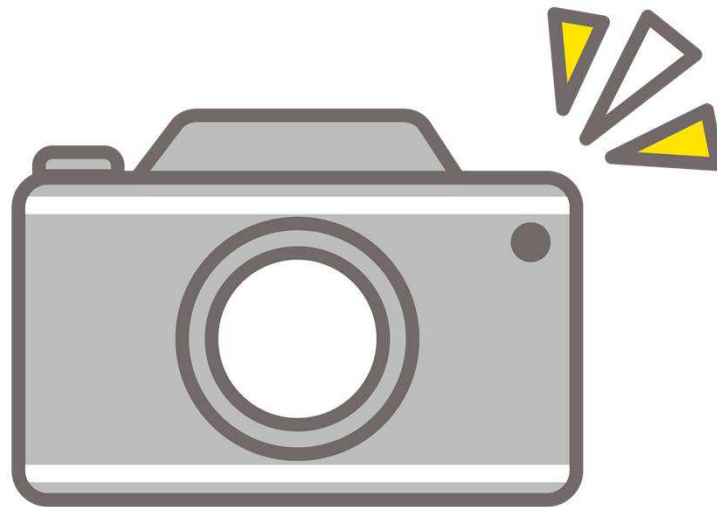
▼ 気軽に話してください

お茶やお菓子を食べながらOK
気軽に話してください



▼ 写真撮影について

記録・広報に使用します
NGの方はお知らせください



2

市のこれからの公園の考え方

▼ なぜ今、公園について考えるのか

昔

子どもの遊び場が中心

子どもが遊ぶ公園、同じ遊具



今

使い方や状況が変化

○高齢者・子育て・多世代



○古い遊具・大きすぎる木



これから

地域に合った公園へ



幼児を連れて
行きたくなる
公園

高齢者が
安心して利用
できる公園



緑や花が多く
仕事の息抜
きができる
公園

▼ これからの公園づくりの考え方

市内も広く、
地域ごとに町の状況、
公園の状況が異なります。

地域ごとの実情に応じて、
地域の方と一緒に公園の計画を作る



▼ 公園区とは？

まちづくり協議会
(概ね小学校区ごとにある)



公園区

みなさんの公園区は
「宝塚公園区」です。



▼ 公園区計画とは？

「公園区計画」を作成し、
地域の公園づくりを行います。

公園区ごとに地域の実情にあった
方向性や具体的な取り組みを決める



▼ 今回は御殿山公園を例に考えます

よく使わ
れている

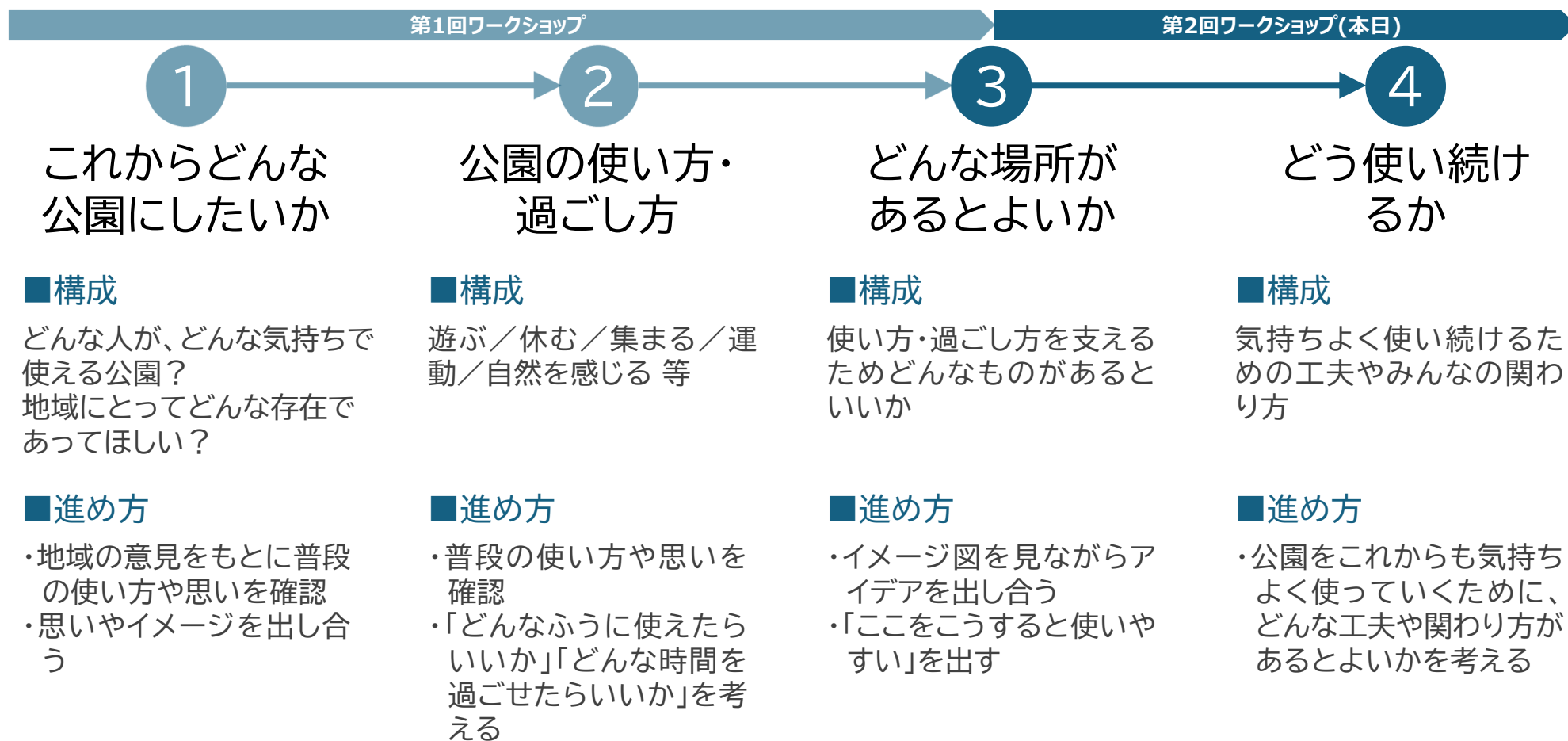
広さが
ある

地域の
中心

御殿山公園をモデルに考えます



▼ これからこんな流れで考えていきます



▼ 公園区計画の実現に向けたスケジュール

●令和7(2025)年度～令和8(2026)年度

ワークショップ開催

公園区計画作成(ワークショップの意見を市が取りまとめる)

●令和9(2027)年度以降

計画をもとに、できるところから実現

今回は御殿山公園を中心に考えますが、今回出た意見やアイデアは地域のほかの公園づくりにも生かしていきたいと考えています。

3

本日の目的

▼ 本日の目的

第1回ワークショップでいただいたご意見をもとに整理した

- めざす公園像
- 主な取組

を共有し、

実現するために大切なことや、

地域・利用者ができること、必要な支援

を一緒に考えます。

▼ 本日確認したいこと

グループワーク①

「めざす公園像や主な取組を実現するために大切なことは？」

例えば…

- 憩い・交流の場づくり
- 子どもの遊び場づくり
- 防災に役立つ公園づくり
- ルール・マナーと住環境への配慮
- 公園の使い方・管理の工夫

グループワーク②

「実現に向けて誰がどのように関わるとよいか？」

例えば…

- 地域・利用者ができること
- 地域・利用者が取り組むために必要な支援

▼ 本日のスケジュール

14:00 はじめに、本日の目的

14:05 第1回WSの結果を踏まえて整理した公園の方向性の共有

14:15 グループワーク①「実現するために大切なことは？」

14:50 5分休憩

14:55 グループワーク②「誰がどのように関わるとよいか？」

15:30 今日出たアイデアの共有

15:45 おわりに、今後のお知らせ

15:50 終了

4

第1回で出た主な意見

▼ 第1回ワークショップでいただいた主なご意見

多世代が利用しやすい公園

- 子どもから高齢者まで利用できる公園
- 休憩やおしゃべりができる場所
- 健康づくりや散歩に利用できる場所



子どもが安心して遊べる公園

- 小さな子どもも安心して遊べる
- 見守りしやすい環境
- 年齢に応じた遊びができる



▼ 第1回ワークショップでいただいた主なご意見

防災に役立つ公園

- 災害時に集まれる場所
- 防災訓練などに活用できる



周辺環境への配慮

- 静かな住環境との調和
- 周辺住民との共存
- 公園利用に関するルールやマナー



5

整理した公園の方向性

▼ 第1回の意見を踏まえて整理した公園の方向性

【めざす公園像】

多世代が集い、遊びや憩い、交流などの普段の利用と防災を支える地域の公園

【4つの方針と主な取組のキーワード】

- ① いろんな世代が
憩い・交流でき
る場をつくる



休憩/健康づくり/多世代交流

- ② 子どもが安心して
遊べる環境を
つくる



遊具/見守り/
多様な子どもの利用

- ③ 多世代が安心して
集える防災機
能を備える



防災設備/防災活動

- ④ 周辺住環境と調
和した環境をつ
くる



ルール・マナー/住環境への配慮/
適切な配置

展開イメージ(主な取組)(案)

●園内外の取組

- ・イベント的に花火ができる日の設定
- ・学校の校庭を活用した、ボール遊びや自転車の練習

- ・防災機能の充実にに向けた設備等の検討(防災東屋、かまどベンチ、防災トイレ、防災倉庫等)
- ・地域防災活動に活用できる空間
- ・平常時と災害時の両立を意識した空間

- ・健康づくりに活用できる空間づくり(散歩コース・健康遊具等)

- ・多世代が憩い・交流できる場
- ・日陰や屋根付きの休憩スペースの充実
- ・散歩、休憩など日常利用しやすい環境づくり

- ・利用ルールを共有し、周辺住環境に配慮した利用
- ・周辺環境と調和した施設配置や空間利用

- ・多様な子どもの利用に配慮した遊び場づくり
- ・見守りやすい遊具の配置や更新の検討

- ・利用ルールを共有し、周辺住環境に配慮した利用
- ・周辺環境と調和した施設配置や空間利用

取組の対象施設や範囲はイメージです。
対象施設や範囲、施設配置は取組を実施する際にあらためて検討いたします。
この図では一部の取組を掲載しています。

6

グループワーク①

「実現するために大切なことは？」

▼ グループでの意見交換の進め方

35分間

①個人で考えてフセンに記入 (5分程度)

展開イメージや主な取組を見ながら、

- ☒ 実現するために大切なこと
- ☒ 工夫した方がよいこと

について意見を出し合ひましょう。

また、周辺の公園との役割分担や地域全体での公園の使い方という視点もあれば意見を出してください。

憩い・交流

木陰で休憩できる場所を確保する

子どもの遊び

見守りしやすい遊具配置にする

防災

普段から防災訓練で活用する

住環境

利用ルールを分かりやすく周知する

管理

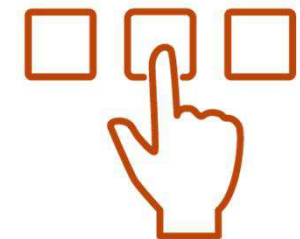
利用者みんなが公園をきれいに使う

※「〇〇してほしい」ではなく、「実現するために大切なこと」「工夫するとよいこと」を書いてみましょう。

②記入した内容を一人ずつ発表 グループで意見交換



③グループで意見整理 「特に大切だと思うこと」を3～5点程度選ぶ



7

5分休憩

8

グループワーク②

「実現に向けて誰がどのように関わるとよいか？」

35分間

▼ グループでの意見交換の進め方

①グループワーク①の結果を確認

- グループワーク①で整理した『めざす公園像を実現するために大切なこと』を確認

「市にやってほしいこと」だけでなく、「地域でできること」と「そのために必要な支援」をセットで考えてみましょう。

②役割や関わり方を個人で考えてフセンに記入（5分程度）

グループワーク①で整理した「めざす公園像を実現するために大切なこと」について、

- ☒ 地域・利用者ができること
- ☒ 地域・利用者が取り組むために必要な支援を考えましょう。

地域・利用
者ができ
ること
(ピンク)

必要な
支援
(青)

憩い・交流	防災	管理
健康づくり活動の実施	防災活動の実施	清掃活動
活動場所の確保	防災訓練への協力	清掃用具の提供

③記入した内容を一人ずつ発表（一人30秒程度）

グループで意見交換



④グループ発表

9

今日出たアイデアの共有

10

おわりに、今後のお知らせ

以上で第2回ワークショップを終了します。
本日はご参加いただきありがとうございました。